



インド

の投資環境について

インドとは？

- 🇮🇳 インドの人口は中国を上回り世界一に
- 🇮🇳 ナarendra・モディ首相が掲げる「メイク・イン・インディア」で、製造業の振興を図る



面積	328.7万km ² (パキスタン、中国との係争地を含む)
人口	14億6,387万人(2025年、IMF予想)
通貨	インドルピー 1インドルピー=約1.67円(2026年7月末)
首都	ニューデリー
民族	インド・アーリヤ族、ドラビダ族、 モンゴロイド族など
言語	連邦公用語はヒンディー語、他に憲法で 公認されている州の言語が21
宗教	ヒンドゥー教、イスラム教、キリスト教、シク教、 仏教、ジャイナ教など
首相	ナarendra・モディ

出所：ブルームバーグ、外務省および IMF（国際通貨基金）
「World Economic Outlook Database, April 2026」のデータをもとにアセットマネジメント One 作成

※上記は過去の情報であり、将来の市場動向を示唆・保証するものではありません。

※投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項等を必ずお読みください。



高い経済成長力



好ましい人口動態



都市化の進展

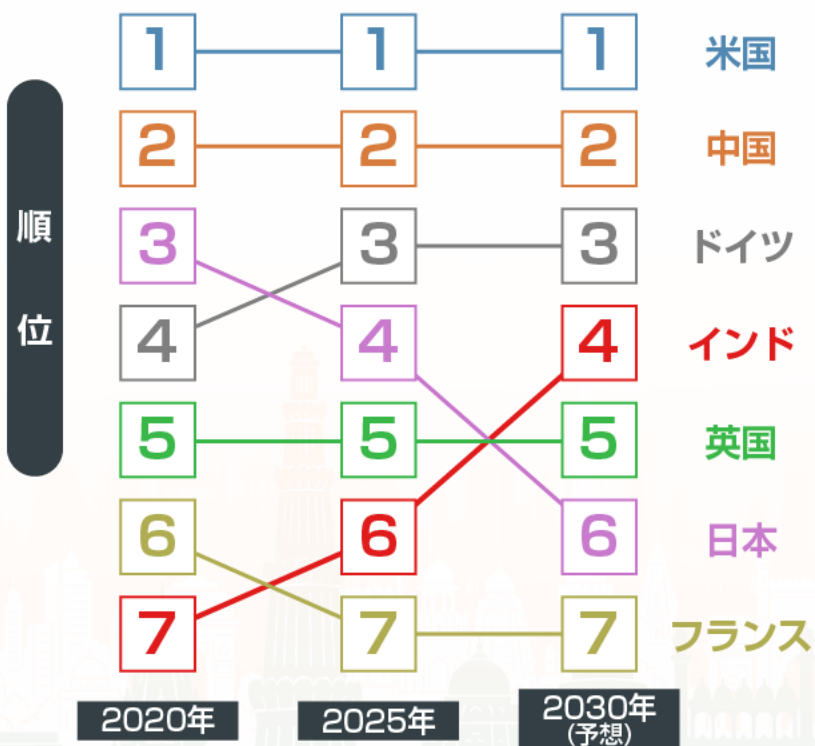
※上記は作成時点の見解であり、将来の市場動向を示唆・保証するものではありません。

※投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項等を必ずお読みください。

高い経済成長力

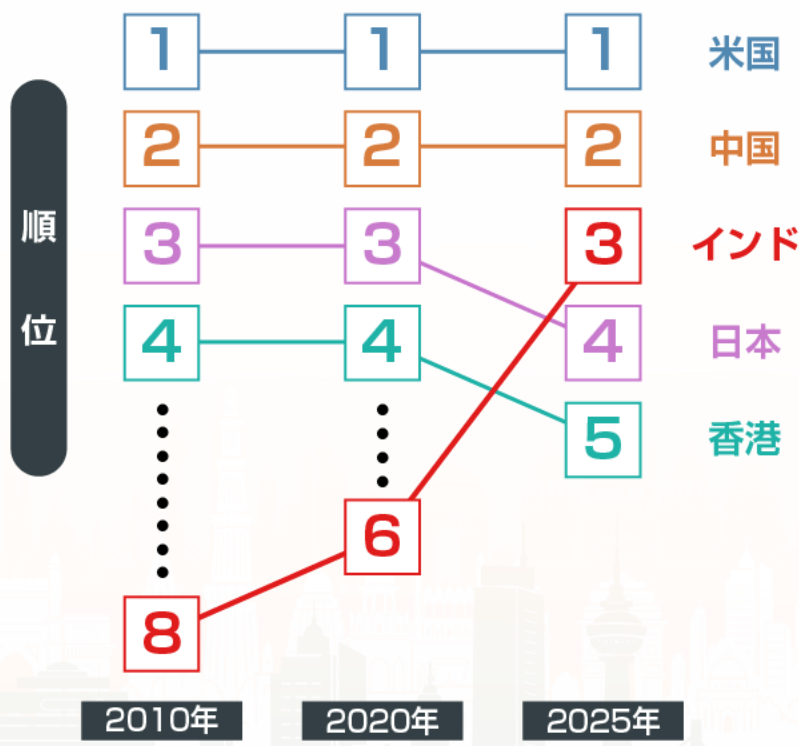
- インドの経済規模（名目 GDP）は、2030 年には日本、英国を抜いて世界第 4 位の規模となる予想
- インド株式市場の市場規模（時価総額）は、2025 年には世界第 3 位に

名目GDP規模ランキングの推移



※期間：2020 年、2025 年、2030 年（2030 年は IMF による予想値）
出所：IMF「World Economic Outlook Database, April 2026」のデータをもとにアセットマネジメント One 作成

株式市場規模ランキングの推移



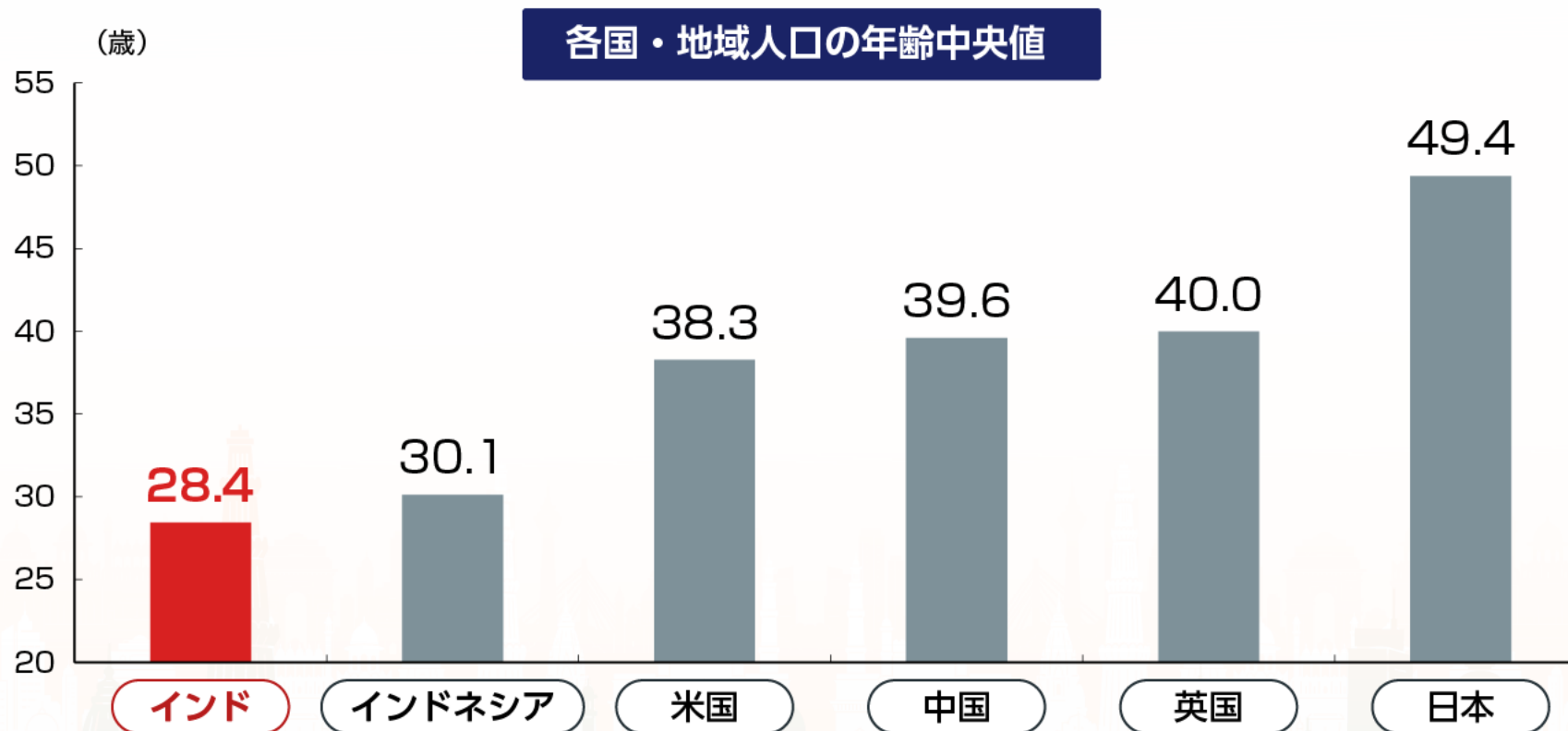
※期間：2010 年、2020 年、2025 年
出所：世界銀行のデータをもとにアセットマネジメント One 作成

※上記は過去の情報または作成時点の見解であり、将来の市場動向を示唆・保証するものではありません。

※投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項等を必ずお読みください。

好ましい人口動態①

🇮🇳 インドの人口の中央値は、28 歳と他国と比較しても若く、経済成長の加速が期待される



※2024 年時点（国際連合による予想値）

出所：国際連合のデータをもとにアセットマネジメント One 作成

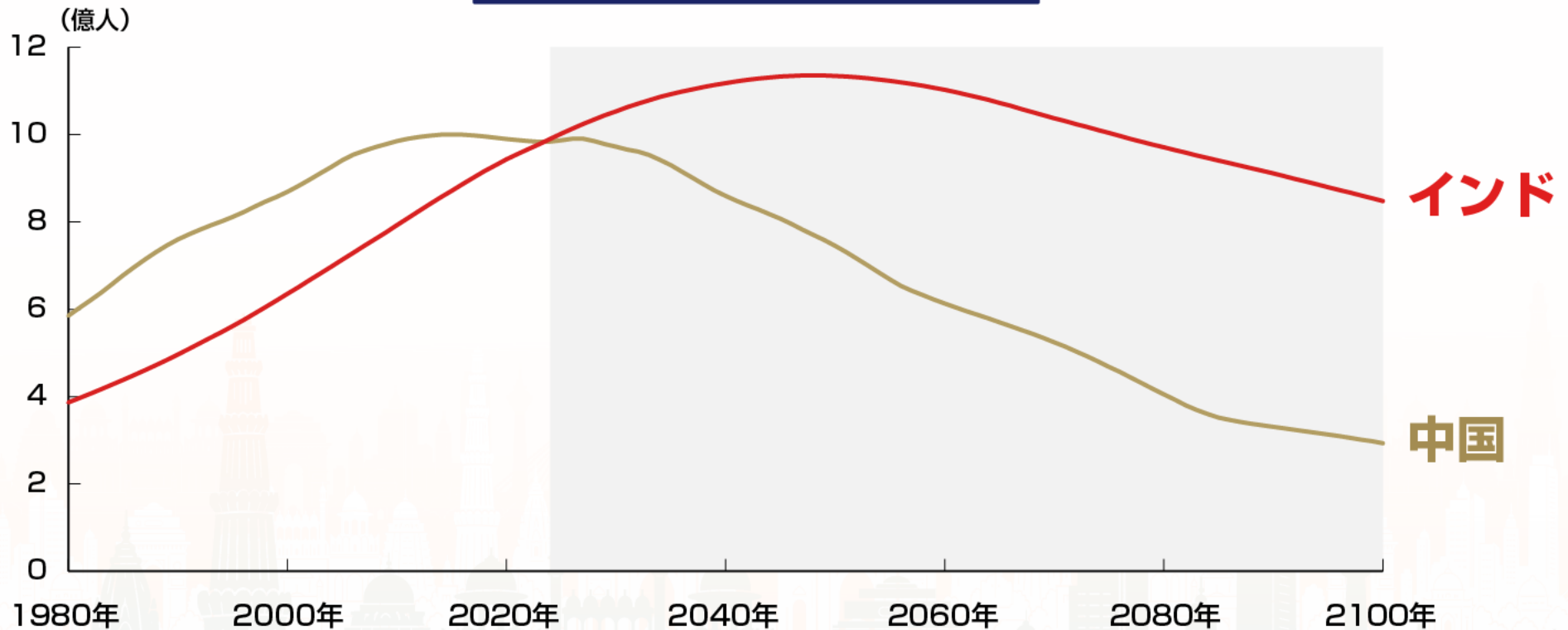
※上記は過去の情報であり、将来の市場動向を示唆・保証するものではありません。

※投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項等を必ずお読みください。

好ましい人口動態②

- インドの生産年齢人口（15 ～ 64 歳）は、当面増加傾向が継続と予想されている
- インドは“人口ボーナス期”に突入（日本も中国も“人口ボーナス期”に高度経済成長を経験）

インド・中国 生産年齢人口の推移



※期間：1980年～2100年（年次）（2024年以降は国際連合による予想値）
出所：国際連合のデータをもとにアセットマネジメント One 作成

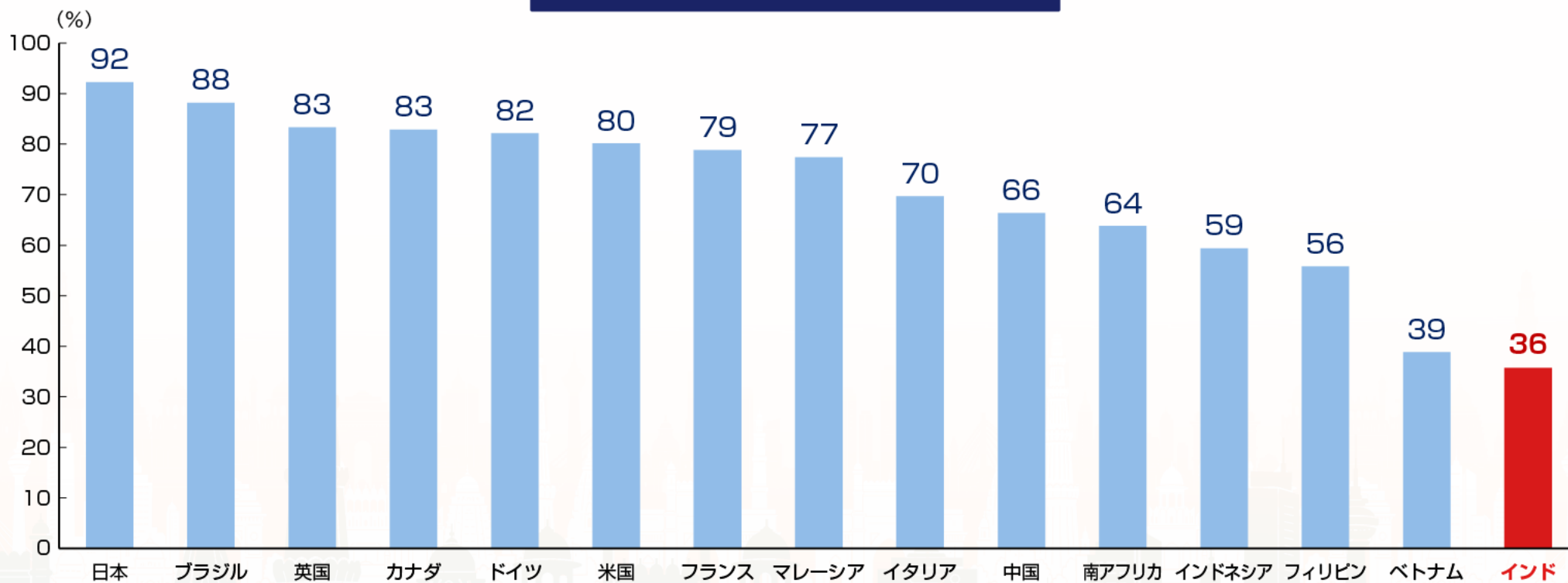
※上記は過去の情報または作成時点の見解であり、将来の市場動向を示唆・保証するものではありません。

※投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項等を必ずお読みください。

都市化の進展①

- 都市化の進展は、雇用機会の増加やインフラ整備などによる経済全体の生産性向上につながる
- インドの都市部人口比率は 36%と先進国などと比べると低位なため、ポテンシャルは非常に高いといえる

各国・地域の都市部人口比率



※2025 年時点（国際連合による予想値）

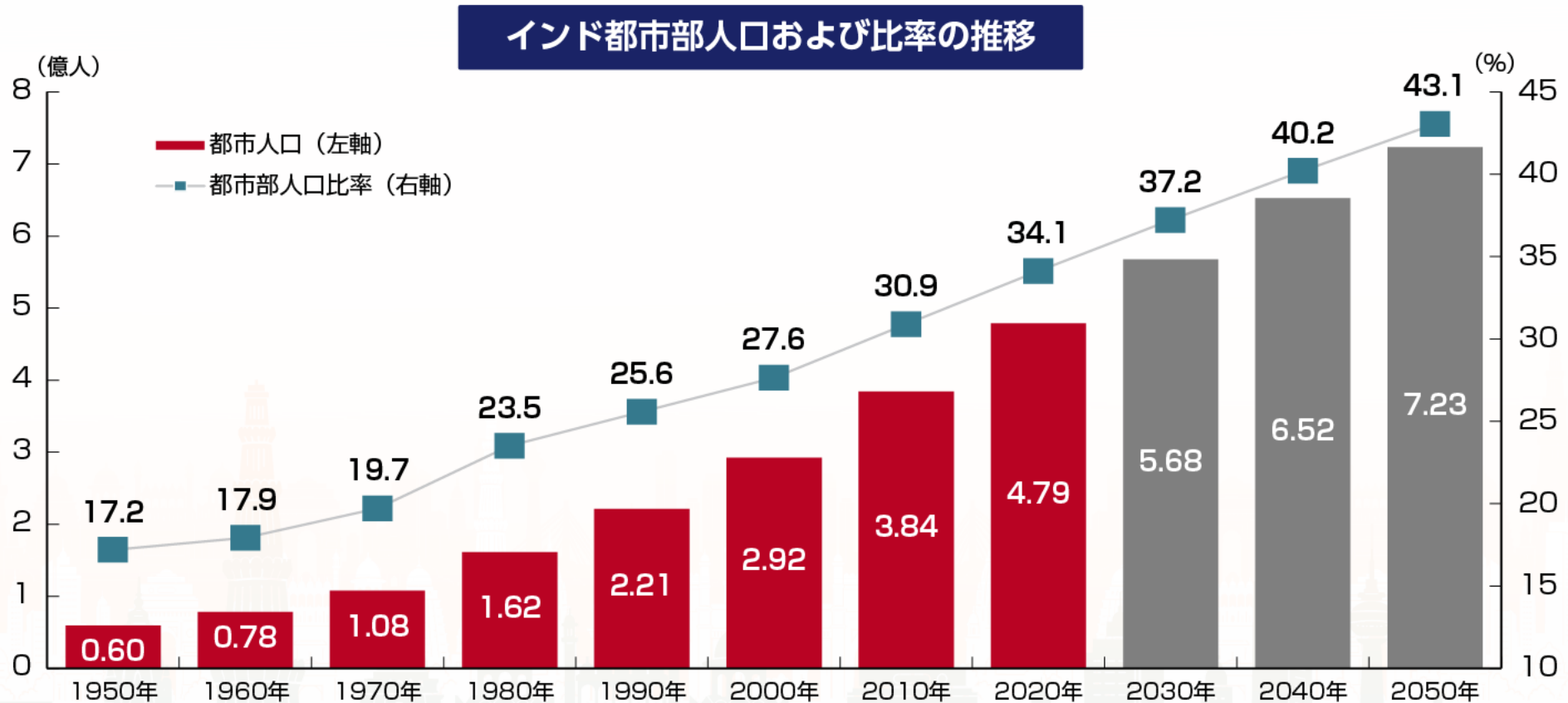
出所：国際連合のデータをもとにアセットマネジメント One 作成

※上記は過去の情報であり、将来の市場動向を示唆・保証するものではありません。

※投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項等を必ずお読みください。

都市化の進展②

🇮🇳 インドの都市部人口は増加し続け、2040年代は40%まで高まると予想されている



※期間：1950年～2050年（年次）（2030年以降は国際連合による予想値）

出所：国際連合のデータをもとにアセットマネジメント One 作成

※上記は過去の情報または作成時点の見解であり、将来の市場動向を示唆・保証するものではありません。

※投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項等を必ずお読みください。

なぜ今、インドは変化しているのか



インドの課題

- ・ 農業従事者が多い
- ・ 低所得者が多い

解決のために
何をめざした？

インド政府の取り組み

所得を増やすには、多くの雇用が必要
(=経済成長)

多くの雇用を生み出す
“製造業の振興による経済成長”をめざす

「メイク・イン・インディア」

結果（変化）



製造業振興の成功によって経済成長が加速

2022年から
工業製品の輸出は急拡大

出所：各種資料をもとにアセットマネジメント One 作成

※上記は過去の情報であり、将来の市場動向を示唆・保証するものではありません。

※投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項等を必ずお読みください。

インドの製造業を後押しする改革

- 政府は製造業振興（「メイク・イン・インド」）のため、供給面における改革を実施
- 国内企業の成長や海外企業からの投資拡大を後押し

法人税率軽減

法人税率を減税し、製造業の設備投資がより活発になるように支援

PLI（生産連動型優遇策）の導入

インド国内で製造された製品の売上高の増加分に応じて、補助金を企業へ支払う

MSME（中小企業）の支援

MSMEの定義基準の引き上げのほか、信用保証枠を拡大し、さらなる事業拡大や技術向上を図る

FTA（自由貿易協定）の加速

2010年代の保護主義的な姿勢から一転、昨今の地政学リスクを受け、各国・地域とのFTA交渉を加速

出所：各種資料をもとにアセットマネジメント One 作成

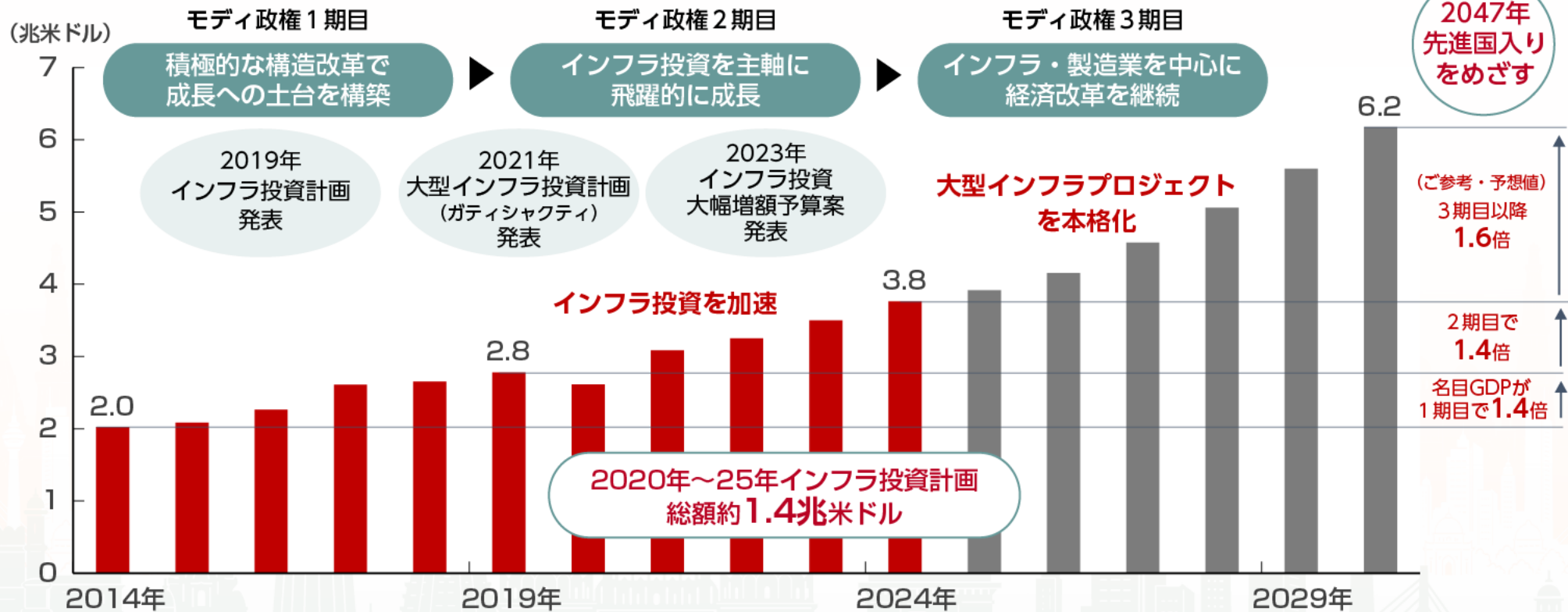
※上記は過去の情報であり、将来の市場動向を示唆・保証するものではありません。

※投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項等を必ずお読みください。

インドのインフラ ～大規模なインフラ投資は高成長の支えに～

- モディ政権 2 期目以降、インドでは大規模なインフラ投資計画が打ち出される
- 2020 年～ 25 年には約 1.4 兆米ドルのインフラ投資が計画されるなど、インフラ投資の一段の増強はインドの高成長の支えに

名目GDPの推移およびインフラ投資計画



※期間：2014 年～ 2030 年（年次）（2025 年以降は IMF による予想値）

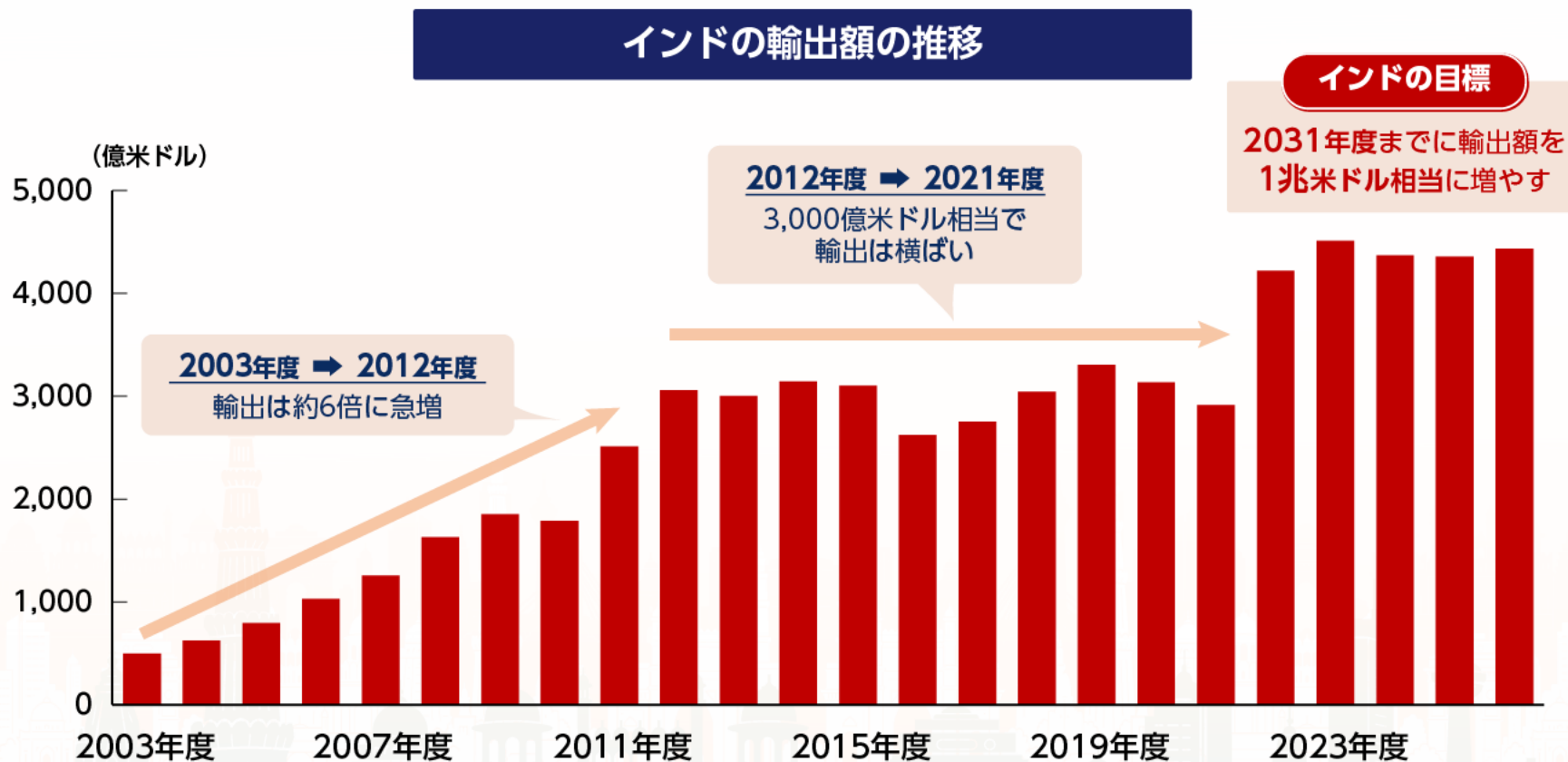
出所：IMF 「World Economic Outlook Database, April 2026」、各種資料のデータをもとにアセットマネジメント One 作成

※上記は過去の情報または作成時点の見解であり、将来の市場動向を示唆・保証するものではありません。

※投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項等を必ずお読みください。

インドの製造業輸出は政府の最優先事項

🇮🇳 インド政府による製造業振興のためのさまざまな改革により、製造業輸出は足もとで大幅に増加



※期間：2003年度～2026年度（年次）

※インドの会計年度は4月から翌年3月まで。例：2026年度は、2025年4月から2026年3月

出所：ブルームバーグ、各種資料をもとにアセットマネジメント One 作成

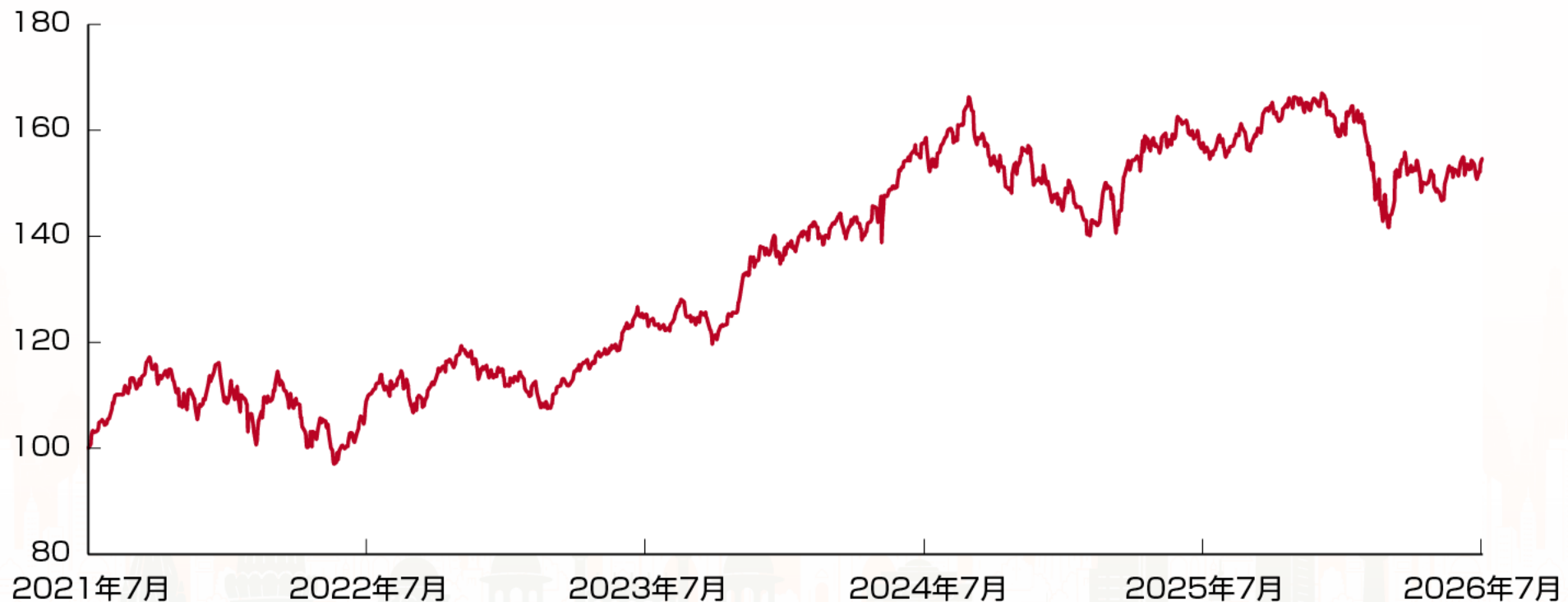
※上記は過去の情報であり、将来の市場動向を示唆・保証するものではありません。

※投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項等を必ずお読みください。

インド株式の動きは？

- インド株式は、2023 年 3 月末以降大きく上昇
- 足もとでは中東情勢の緊迫化や原油価格高騰などにより軟調に推移する場面も

インド株式の推移



※期間：2021 年 7 月 30 日～2026 年 7 月 31 日（日次）

※2021 年 7 月 30 日を 100 として指数化

※インド株式：Nifty50 指数

出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメント One 作成

※上記は過去の情報であり、将来の市場動向を示唆・保証するものではありません。

※投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項等を必ずお読みください。

インドの株式市場のこれまでと今後は？

2002～2007年頃のインド
輸出増加やBRICsブームで株式は大幅上昇

マクロ&企業業績

株価の動き*

2010年代
輸出は横ばい続く

2010年代
業績の伸びは鈍化

注目点!

2022年から
輸出急拡大・利益成長加速

インフラ整備や
法律・税制改正などの成果

2008年の高値から
一時半値以下に

2021年3月
株価は2008年の高値を更新

2023年9月以降、米国のインフレが落ち着き、
利上げが見送られるなか、インド株式は
2024年7月に最高値を更新

2022、23年の米金融引締政策も
インド株式は堅調

業績拡大を背景としたインド株式の上昇に期待！

*MSCI インドインデックス（円ベース）を使用
出所：各種報道の情報をもとにアセットマネジメント One 作成

※上記は過去の情報または作成時点の見解であり、将来の市場動向を示唆・保証するものではありません。

※投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項等を必ずお読みください。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項等

【投資信託に係るリスクと費用】

●投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券(REIT)などの値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

●投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料 : 上限3.85%(税込)

換金時手数料 : 換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額 : 上限0.5%

■お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬): 上限 年率2.463%(税込)

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料: 上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書(交付目論見書)等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用(上限額等を含む)を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

●当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

●当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

●当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

●当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

●投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。



アセットマネジメントOne

商 号 等 :アセットマネジメントOne 株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第324号
加入協会:一般社団法人資産運用業協会

コールセンター 0120-104-694 (受付時間:営業日の午前9時~午後5時)
ホームページアドレス <https://www.am-one.co.jp/>